

イベント開催時のレイアウトや展示物を思いが伝わるように作成するスキルを磨く講座や効率的にイベント広報や予約等のサポートをするオンラインツール活用相談会を実施します。初心者さんでも大丈夫です。お気軽にご参加ください。

9/26(火)  
18:30~20:00

## イベントスタイリストによる直々レクチャー！ 参加費無料 ブースの魅せ方講座

【会場】TENT成瀬 【定員】10名(先着順) 【講師】うえだひろみ氏(イベントスタイリスト)

イベントやマルシェ出店時のブースを「素敵に魅せる」ためのコツやポイントが具体的にわかる講座を開催します。イベント運営の豊富な経験があるうえださんだからその実践的なポイントを直々にレクチャーしていただきます。少人数で行いますので、皆さんのイベント出展に向け、直接アドバイスをいただける貴重な機会です。

要予約



Googleフォームからお申込みください

### プロフィール うえだひろみ氏

<https://www.hiromiueda.com>



イベントスタイリストとして活動中。作品や作家さんと直接会える空間を作り、訪れた方の暮らしや日常がほんの少し変化するきっかけになったり、新しい発見から一瞬でも心が躍りだすような時間と感動をお届けしたいと思っています。テーマや世界観を大切にすることで、作家さんやお店の方の思いを丁寧に届けるイベントを心掛けています。

10/5(木)  
10:00~17:00

## 誰でも気軽に立ち寄れる地域活動のつながりの場 参加費無料 まちカフェ!オープンデー

【会場】町田市役所2階市民協働おうえんルーム

SNS・オンラインツール相談会のみ  
要予約



Googleフォームからお申込みください

「地域活動団体がいつでも交流し学び合える場」として、毎月第1木曜日に開催しているまちカフェ!オープンデー。当日は、サポートオフィスのスタッフが終日おりますので、まちカフェ!以外の地域活動についてのご相談も承ります。この日は、「SNS・オンラインツールなんでも相談会」(要予約)を13時~と14時~の2枠で実施します。団体のイベント運営や広報にお役立てください。

### SNS・オンラインツールなんでも相談会

無料もしくは安価で使えるオンラインツールの活用や操作方法についてスタッフがご相談に乗ります。簡単に魅力的なイベント運営や広報と一緒に実現していきましょう。

### ご相談をお受けできるSNS・オンラインツール

- Facebook ● Instagram ● X(旧Twitter)
- 公式LINE ● Canva ● Zoom ● QRコード
- Googleフォーム ● Peatix ● 調整さん
- 進行表さん ● kintone等

こんな方におすすめです

- ✓ 自団体に合うツールとおすすめの活用方法について聞いてみたい方
- ✓ イベントの集客や告知をもっと楽にスムーズに行いたい方
- ✓ SNSやオンラインツールについて実際に操作してみたい方

一般財団法人町田市地域活動サポートオフィス

info@machida-support.or.jp

042-785-4871 月~金 午前9時から午後6時  
(毎月第三水曜日は午後5時まで)

〒194-0013 東京都町田市原町田4丁目9-8 町田市民フォーラム4階

● JR横浜線町田駅から(徒歩約5分) 小田急線町田駅から(徒歩約8分)

● お車で越越しの場合は近隣の駐車場をご利用ください

相談無料

事前予約制

公式SNS 更新中



www.machida-support.or.jp

### Now

農福連携事業が始まっています!

### Topics

助成金申請書作りの事前準備とまとめ方のコツ

### Information

近日中に開催するイベントのご案内

収穫当日は、本事業を支援しているシナネンホールディングス(株)や町田でひきこもり等の若者支援をしているNPO法人ゆどうぶ、東京都人権啓発センターや市役所からも多数の方々がお越しになり、とても活気のある収穫時間になりました。



## Now

近況報告

### 農福連携事業が始まっています!

シナネンホールディングス株式会社(本社東京都港区)のご支援により、**農福連携事業「自然栽培パーティー反パートナープロジェクト」**\*が本年度より町田市でスタートしています。本プロジェクトは、企業が福祉施設の利用者の方と農作業を行い、収穫したお米を一定の単位で買い取る農福連携の支援活動です。

町田市での取り組みはさらに活動を拡大し、町田市で自然栽培の農業を営むバンブービレッジファームと野菜作りに関する支援活動を実施しています。収穫した野菜は、市内の障がい者施設や子ども食堂へ提供(無償)しています。サポートオフィスでは、本事業に参画する団体のコーディネート及び市との連携等を行いました。

本プロジェクトの一環として、7月28日に下小山田町にあるバンブービレッジファームの畑で、じゃがいもの収穫作業を行いました。自然栽培の豊かな土で育った野菜たちが、順次希望のあった子ども食堂へ届く予定です。



▲耕耘機で掘り起こしたじゃがいもを手作業で丁寧に収穫していきます。「宝探しのようで楽しい!」という声もあがっていました。

\* 農福連携事業「自然栽培パーティー反パートナープロジェクト」とは

農福連携とは、障がいのある方等の農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取り組みを意味します。互いの強みを生かし合うことで、人手不足や資金不足等のそれぞれが持つ課題を解決し、地域の活性化の一翼を担う取り組みです。本プロジェクトは、一般社団法人 農福連携自然栽培パーティー全国協議会が株式会社コトノネ生活(季刊「コトノネ」発行元)と連携して実施しています。



当日の詳細の様子は  
こちらからご覧いただけます



# Topics 特集 団体のみなさんに知恵や経験をお聞きしました/ 助成金申請書作りの事前準備とまとめ方のコツ

秋は助成プログラム募集シーズンで、数多くの助成金募集が始まります。

「事前にどんな準備をすればいいかわからない」「申請書を書くのが大変そう」と感じている方も多いのではないのでしょうか？サポートオフィスでは、助成を受けて事業を進めている市内の3つの地域活動団体にアンケートを行いました。その回答の中から、助成金申請のコツやアドバイスをご紹介します。サポートオフィスからのアドバイスと共にご参考になさってください。

アンケートにご協力いただいた団体  
昨年度助成が決まり、現在助成金を使いながら事業を進めている3団体に、申請書作りに関するアンケートにご協力いただきました。

**特定非営利活動法人ゆどうふ ゆどうふ**  
ひきこもり等の生きづらさを抱えた若者と家族の支援活動を実施。フリースペース(ふらっと)の運営や専門職のカウンセリングの他に、地域の困りごとを若者たちが解決する〈わらしペワークプロジェクト〉も行う。

**子ども食堂せかい**  
スープをメインにした飲食店兼子どもと大人を繋ぐ地域のコミュニティとして子ども食堂を運営。企業や個人が飲食券を購入・寄付し、訪れた子ども達が券を使って無料で食事が出来る仕組み(夢チケット)も好評。

**ミニまちだ実行委員会 ミニまちだ**  
小学生～高校生を対象としたこどものまち「ミニまちだ」を年1回開催。開催に向け、こども実行委員が半年をかけてまちづくりの話し合い(こども会議)を実施。今年度のミニまちだは、11月18,19日に開催が決定。

## 事前準備編

いきなり申請書を書き始めるのではなく、しっかりとした事前準備が大切です！

Q 助成金情報は主にどこで入手しましたか？

A 助成団体のホームページ  
サポートオフィスからの紹介  
助成金情報を集めたホームページ※

サポートオフィスから

助成金情報は、ちょっと先輩の団体にこれまで応募したことがあるプログラムについて聞いてみるのもいいですよ。説明会に参加するとプログラムの理解が深まるのでおすすめです。参加できなかった場合でも電話等で個別相談を受け付けている助成団体も少なくありません。担当者と直接話すことができる機会は活用しましょう。

Q 助成プログラム説明会に参加しましたか？

A 参加しました …………… 2団体  
A 参加しませんでした …… 1団体

※ 助成金情報を検索できるサイト

全国の助成金情報を時期やテーマ等で検索できます。

CANPAN  
(カンパン)



公益財団法人  
助成財団センター



Q 申請書を書くために、団体内でどのような準備をしましたか？

A 申請する助成プログラムの過去助成実績団体の事業を確認・研究しました。その後理事長、申請事業担当者として2週間(週2日)ほど集中して申請内容について打ち合わせを行いながら、申請事業のアピールポイントを改めて整理しました。

A 助成金申請の必要性がきちんと第三者にも伝わるよう、統計から団体の事業に関する数字を集めたり、申請書に重点的に書く事業を何度も話し合ったりしました。

サポートオフィスから

助成団体の多くは、過去の助成対象一覧を公開しています。複数年確認することで、採択の傾向がわかります。また、選考委員長のコメントが掲載されていることもあります。選考の際に重視された点など参考になるので、申請書作成前にしっかりとチェックしましょう。

サポートオフィスから

課題や実績など数字で記載されていると具体性が高くなります。まずは、政府や行政が公開しているデータなどをチェックしてみましょう。また、普段から自団体の活動の記録(相談件数、相談内容、イベントの参加者数等)を記録しておくことも大切です。

## 申請書作り編

担当者が苦労した点ややってよかった点から、申請書づくりのヒントを探りましょう！

Q 申請書を書く時に「難しかった」「時間がかかった」と思った項目を教えてください。

A 自団体の考えや取り組みをどのように表現すると、助成プログラムの意図に合致するのかを考えるのに時間がかかりました。

A 助成団体の助成目的を読み解くことと申請予算の組み立てです。沢山ある助成プログラムから自分たちの活動に合致するプログラムを探し出すのが大変でした。

サポートオフィスから

「助成の趣旨や目的」の項目、「選考基準」の項目などをしっかりと読みこみましょう。選考基準は、多くの助成のプログラムで共通している「実現可能性」等の項目とそのプログラム独自の項目があります。助成団体が選考の際に大事にしていることは、独自の項目を見るとわかりますよ。

Q 申請書を書く時に「工夫したこと」「こうやったらよかった」と思う点を教えてください。

A 現場の職員に話を聞くなどをして、申請書に記載する事業の内容をできるだけ詳しく知るように努めました。

A 団体メンバー間だけの打ち合わせだと視野が狭くなりがちです。色々な方に申請書を読んでもらい、客観的な助言をいただくことで、内容が厚く良い申請書ができました。

サポートオフィスから

申請書に記載する過程で、団体内外の方に読んでもらう機会をもつことは効果的です。そのことがメンバー間の目線合わせにもなりますし、協力者を増やすきっかけにもなります。「助成金申請」はコミュニケーションのチャンス！と考えましょう。

助成金申請ははじめの一步

地域活動・市民活動の多様な財源とその特徴を知ろう

非営利活動団体にとって「財源(お金)」は、資源の一つであり、全てではありません。財源以外にも人(スタッフやボランティア)、物(設備や備品)、場所なども活動には重要です。今、自団体にとって「一番必要な資源」は何か、もしそれが「財源」なのであれば、数ある種類からどの財源を確保するといったの考えることが大切です。

※会費・寄付、事業収入、補助金・助成金、委託、融資

多様な財源の詳細はこちらをご覧ください



サポートオフィスでは、助成プログラムの紹介だけでなく、団体の目指す姿を話し合いながら最適な助成プログラムを選んだり、申請書を書くアドバイスを個別で実施しています。お気軽にお問い合わせください。



### Message

助成金の申請に挑戦しようと  
考えている地域活動団体の  
皆さんへ応援メッセージ

特定非営利活動法人ゆどうふ

皆さんの活動が地域に役立っていることは間違いありません。その活動の継続・拡大を訴える気持ちの強さを助成金の選考者に申請書を通じて伝えてください。

子ども食堂せかい

日々の活動の中で申請手続きへ時間を割くことが難しく、苦手意識もあるかもしれませんが、資金獲得は活動の幅を広げるきっかけにもなります。サポートオフィスなど第三者の助言を活用するといいですよ。

ミニまちだ実行委員会

まずはチャレンジすることをおすすめします。助成が決定した時は、自団体の活動が対外的に評価された喜びがありますし、資金的にも非常に助かります。ただ、助成金の申請締切日は思いのほか早く迫ってくるので、早めのご準備を。

### 助成を受けている団体のリアルな体験談、アドバイスが満載

サポートオフィスが開催した「みんなの経験共有会vol.5」では、助成金を活用し事業を進めている3団体と助成担当者とトークセッションを行いました。今回アンケートに回答いただいた特定非営利活動法人ゆどうふとミニまちだ実行委員会のご担当者も登壇されています。詳細をぜひご覧ください。

